



ゆり北

第41号(5期第3号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

「周辺道路の騒音・排ガス問題」

板橋区長より回答

去る、五月二十七日、年々ひどくなる堪え難い騒音・排ガスをなんとかしてほしいと、板橋区に要請しましたが、この度、板橋区長より回答が寄せられました。それなりの取り組みはあるようですが、住民の切実さに比べて、対応が余りにも弱く、遅

いと思えてなりません。交通違反の取締強化を行なっているとのことですが、実感がありません。私たちは、さらに要請を続けたいと思います。区長からの回答の全文は、次の通りです。

△自治体・公団対策部▽

昭和六十二年五月二十七日付で要請のありました件について回答いたします。自動車公害対策の充実につきましては、かねてより、都及び国に対して、自動車排ガス対策の一層の強化と騒音・振動対策を具体的に進めるよう要望しているところです。

この度、要請のありました交差点付近の騒音、排ガス対策につきましては、昭和六〇年六月議会での請願採択以来、その主旨にそって、交通規制及び交通違反の取締を所管する警察署(高島平署、練馬署)に対して要望してまいりました。交通違反の取締強化につきましては、早速、実施していただきましたが、交通規制については、広範囲にわたる他の道路への影響が大きいため、慎重な検討が必要であり、早急な対策は難しいとの回答がありました。また、今回、具体的な要請書をいただきましたので、警察へは重ねて要望をいたしました。なお、区といたしましても、防音の一助として同交差点付近に昭和六一年度で緩衝緑地帯(延長約一〇〇m、高さ一・八m、樹種キンモクセイ二列)の設置を実施し、引き続き六二年度も延長約一〇〇mの同緑地帯を設置することが決定しております。

昭和六十二年七月二日 (担当課…土木部工事課、建築環境部公害対策課)

光が丘ゆりの木北自治会 会長 吉柳俊孝様

板橋区長 栗 原 敬 三

交通問題など課題は山積

— 光が丘連絡協議会 —

七月十九日に総会開く

光が丘住民組織連絡協議会は七月十九日第二回総会を開催、全加入団体十九組織三〇名が参加しました。

討議は活発に行なわれ、広報体制の確立、駐車場問題をはじめ路上駐車など交通問題の解決、IMAとの定期協議の実現、そして地下鉄の早期実現・練馬駅への有楽町線の乗り入れ促進など、切実な意見が出されました。

最後に役員体制について、会長・副会長・幹事長の体制から、会長・

副会長・事務局体制への移行を決め、次の役員を万場一致で決めました。

会 長 山内完一(むつみ台・自)

副 会 長 青山 昇(都営第三・自)

植原貞夫(公社第二・自)

岡本嘉之(公園南・管)

岡田 要(公園南・自)

事務局 吉柳俊孝(ゆり北・自)

保谷 博(シテイコープ管)

池田悦久(都営第一・自)

会計監査 小林真澄(大通北・管)

〃

8月29日・30日は
ゆりの木夏まつり
(自治会員にはお楽しみ券が配られます)

○ 29日(土)	PM 3:00 ~ 4:00 ~ 8:30	子供みこし 模擬店・お楽しみコーナー
	7:00 ~ (第1回)	バンド演奏
	8:00 ~ (第2回)	〃
	9:00	おまつり終了
○ 30日(日)	PM 1:00 ~ 1:00 ~ 7:00	子供みこし・すいか割り 模擬店・お楽しみコーナー
	3:00 ~	クロンボ大会
	6:00 ~	バンド演奏(子供むけ)
	7:00 ~	バンド演奏
		おまつり終了

みんなの安全のために

不法駐車をなくそう!!

私達の住む団地は有料駐車場以外の所には駐車をすることが出来ないことは皆さんよくご存知のことだと思います。

しかし、現実には毎日三十台前後の車が駐車をしています。

とくに一号棟周辺においては両側駐車もあり、住民の安全保障は出来ない状態になっています。自治会では駐車車輛に対し警告とお断りをしてまいりましたが、一向に減る様子もありません。常習車輛が多すぎるのです。

この数十台の車輛がみなさんの安全と財産の保障をおびやかしているのです。

実際に火災が起き、消防車が駐車

車輛のために到着が遅れたという事例はたくさんあります。

車社会でもあり、車による訪問が多いことも事実です。

しかし、駐車場のないのも事実です。私達はここに住んでいるのです。

以前、訪問駐車の場合は、訪問先、期間、電話などを書いてよく見える所に提示して下さいる様お願いしてきましたが、最近では逆用している車輛が多くなります。

私達は危険と不快を求めてここに住んでいるのではないはずで

みなさん、もう一度私達の住むゆりの木北団地の生活環境を考えてみて下さい。

△環境部▽

自転車置場の

ルールを守ろう!!

最近、自転車が無断に置かれているのが目立っています。

自転車は個人の財産かも知れませんが、駐輪場等は住民全員の共有スペースです。共有部分では私達住民が守るべきルールとマナーがあつて

しかるべきです。

また、防災上からも最低、次のことはぜひ守っていただきたいと思

います。

一、整理整頓を心掛けましょう。

一、三輪車、乳母車は自室に置くよう

う心掛けて下さい。

一、建物の通路に自転車、バイクなどは、避難の際に危険です。

一、必要最低限の台数保有に努めま

しょう。

一、住所、氏名、識別シールは必ず

貼りましょう。

以上のことを、ご理解いただきま

して、不愉快な思いをしなくてもよ

い快適な生活を送りましょう。

△環境部▽



特に小さいお子さんに被害が出ています
エレベーターやホールに注意して下さい。
大人の目で監視を!
被害にあったら警察に届けて下さい。
ゆりの木北自治会 環境部

夏休み

ミニミニキャンプ

雨で一泊できなかったよ!



これで本当に御飯ができるのかなあ。変なおなべ!

七月二十五(土)の午後から二十六日(日)の昼頃までに行なわれた第三回ミニミニキャンプは、集合直後より激しい雷と雨におそわれ、一時中止となりました。このためキャンプファイヤー、テントでの一泊は出来ませんでした。翌日は快晴で早朝からスイカ割りや、カレー作り等楽しい時間を過ごすことが出来ました。

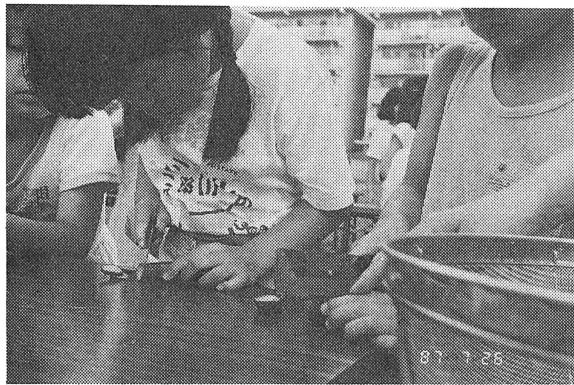
ミニミニキャンプに参加して

五年 渡辺 あや

雨で一日目はちゅうし。せっかくお父さんたちがテントをつくってくれたのに。ざんねんだった。

二日目は、朝七時からで、まず朝ごはんをつくる。私たちはごはんのとききゅうりをきって、とうふとあぶらあげをきった。私はごはんをたいた。時間がかかるのでたいへんだった。

お昼はカレーライスだった。今度



手をきらないで、キュウリをきらなくちゃね。

シリーズ②

楽しいハイキング

あつという間に夏も終りに近づいてしまいました。今年の夏は不順でいつが梅雨あけかと迷わされる反面、水源地では雨不足で節水に苦労する毎日でした。私も恒例の家族旅行の夏山を北アルプスの五色ヶ原、立山と縦走してきましたが、この異常気象のおかげで、高山植物の花もちが良く、八月にはもう穂になってしまいうちんぐルマの群落を楽しむことができました。

静かな

初秋の山々



配が感じられるものです。

東上線の小川町からバスで三十分、五十分位のあたりには手頃なハイキングコースがあります。駒新田峠から大霧山(徒歩三時間)、笠山・堂平山(徒歩三時間半)、二本木峠

これから山は、静かな秋を迎えます。自然のうつろいの敏感さを感じることが出来るのが八月末から九月の山といえるのではないのでしょうか。

この近郊の低い山々でもそんな気が

・登谷山牧場コース(徒歩四時間)などが推奨できるコースだと思います。

小川町までは、成増から一時間十分程度、バスの便も考えると八十分前には成増を乗車すると良いでしょう。帰りは五時頃(登谷山牧場コースでは六時頃か)でしょう。小学生も低学年だと最初はよく歩くが、休みを取ることが多くなり、標準タイムより一時間程度は余分にみておいた方が良いでしょう。スキの白い穂波や、あけびの熟れた実の甘酸っぱい味をこの秋に体験してみてください。

のごはんとう番は二年生の上楽くんだった。私たちは、ジャガイモやニンジン、玉ねぎをきった。カレーライスをきいて食べてみるととてもおいしかった。でも、おじさんが私がつくったごはんより、二年生のつくったごはんのほうがおいしいよっていった。私はしゃくにさわった。よおしもとおいしいごはんつくりに来年もさんかするぞ。と思った。

たのしかったスイカ割り

一年 はらしま あゆみ

わたしが、きんぷにいったときにはあめがふっていて、かみなりがきてしまいました。

でもそのつぎのひの七じからまたあつまってすいかわりや、げえむをしました。

すいかわりがいちばんおもしろかったです。

すいかはわれなかったけど、あとからみんなであつたすいかをたべました。

おひるはかれえでした。みんなであつたのでおいしくできました。

お詫びと訂正

六月に配布した会員名簿に誤りがありました。お詫びするとともに訂正します。なお、他にもお気付きのことがありましたら係までお願いします。

P42	P34	P31	P29	P15	P9
正誤	正誤	正誤	正誤	正誤	正誤
ゆりの木児童館	寺坂 礦平	阪本 宜康	林 専一郎	種村 満	川名 マリ子
九七七一六六一				九七五二八七五	九七五二七五九
九七七一六六一				九七五二八七五	九七五二七五九

キャンプを経験して

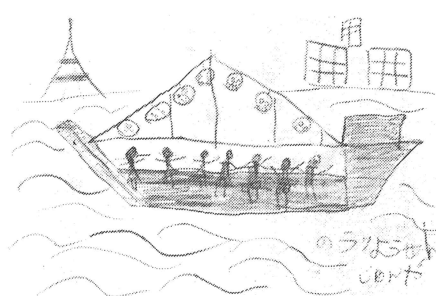
大河原 孝和

ぼくは、このキャンプで貴重な経験を得ることができました。

その一つは、低学年のおもりをすることです。始めはいやいややっていったものの、だんだん楽しくなってきました。

そしてもう一つは、みんなで力をあわせてつくった食事のおいしさをしました。

そして、このキャンプが終わったときには、ちよとしたキャンプへの自信ができました。



野村純也くん(5歳)

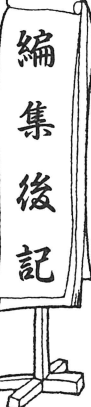
投稿

四十二年前の夏

私用で、新宿区文化センターの前を通った。折しも同センターで「新宿区平和展」が開かれていたので観ることとした。この新宿は私が生れ育ったところ、東京空襲をこの地で受け、焼け出されたのは五歳十ヶ月の時であった。同展は区内戦争遺物展・ヒロシマナガサキ原爆展・平和のポスター展で構成されていた。さほど広くない会場になつかしい(?)慰問袋や配給通帳などが展示されていた。今から四十二年前の四月十三日夜、火の海と化し、焼夷弾の雨のなかを、新宿御苑へ、浄水場(今の



グループに分かれての食事づくり。



残暑御見舞申し上げます。数日を涼風の緑の中で過ごしてきました。リフレッシュした気分も萎えるような東京のむし暑さに辟易しています。

ゆりの木夏まつりは、これから本番です。暑さをふきとばし、皆で楽しくやりましょう。まつりの御感想をお寄せいただけましたら幸いです。(N)